

| 実施年月       | 科目    | 担当者  | 注意            |
|------------|-------|------|---------------|
| 2017 年 7 月 | 経済学 a | 畠農銳矢 | 4 問すべてに解答すること |
| 所属         | 年組    | 学籍番号 | 氏名            |
| 学科         | 専攻    | 年 組  |               |

**第 1 問** 海外と取引していることを前提として以下の設間に答えなさい。 (各 10 点, 計 30 点)

- 1) GDP の計算から輸入が控除される理由を簡潔に説明しなさい。
- 2) A 財の価格がアメリカで  $p$  ドル, 日本で  $q$  円のとき, A 財の購買力平価はいくらか。
- 3) 円とドルの為替レートが 2)の購買力平価より円高になったとき, アメリカと日本の間での A 財の輸出入取引にどのような影響があると予想されるか。簡潔に説明しなさい。

|    |    |
|----|----|
| 1) | 2) |
| 3) |    |

**第 2 問** 以下の説明は正しいか。根拠も簡潔に述べること。 (各 5 点, 計 20 点)

- 1) 経済学とはお金の学問である。
- 2) 経済成長の最も重要な要因は労働力の増加である。
- 3) 同じ所得水準であれば, 同じ程度に豊かであると言える。
- 4) GDP 総額で見て、日本はアメリカに次いで世界第 2 位に位置している。

|    |  |
|----|--|
| 1) |  |
| 2) |  |
| 3) |  |
| 4) |  |

**第 3 問** A～D の産業が存在する国がある。各産業の生産活動および最終消費の状況は右表のようになっている。このとき以下の設間に答えなさい。

- 1) 表中の空欄(a)～(g)に適切な数字を求めなさい。  
(各 4 点, 計 28 点)

|      | A   | B   | C   | D   | 計   |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 原料   | 60  | (a) | (b) | 100 | (c) |
| 付加価値 | (d) | 150 | (e) | (f) | (g) |
| 生産物  | 200 | 250 | 220 | 300 | 970 |
| 最終消費 | 110 | 200 | 120 | 240 | 670 |

- 2) もっとも生産力の小さな産業は A～D のうちのどれか。(2 点)

| 1)  |     |     |     |     |     |     | 2) |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| (a) | (b) | (c) | (d) | (e) | (f) | (g) |    |
|     |     |     |     |     |     |     |    |

**第 4 問** IS-LM 分析の図を裏面に描き, 以下の政策の効果を図解しなさい。1)と 2)を別々に描くこと。(各 10 点, 計 20 点)

- 1) 日本銀行（中央銀行）が貨幣量を増やす政策
- 2) 政府が公共投資を行う政策